

# 学 校 経 営

- 1 校訓 **克己 奉仕 規律**
- 2 学校教育目標

## 知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成

- 進んで学び 深く考える生徒 (知) ⇔ 克 己
- 自他を思いやり 心豊かな生徒 (徳) ⇔ 奉 仕
- 心身ともに健やかで たくましく生きる生徒 (体) ⇔ 規 律

3 学校経営の方針 (学校教育目標具現化に係る亘理中学校教職員の心構え・矜持)

- (1) 生徒の個性と可能性の伸張 —— 「全ての教育活動の主役は生徒」 — かよいたい学校
- (2) 家庭・地域及び関係機関との連携 —— 「教育活動の公開と情報発信」 — かよわせない学校
- (3) 教職員のコミュニケーションと研 — 「教職員の自信とやりがい」 — 勤務したい学校  
修の深化

4 今年度の最重点努力事項 (経営の3本柱)

校 訓	克 己	奉 仕	規 律
学校教育目標	知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成		
	進んで学び 深く考える生徒	自他を思いやり 心豊かな生徒	心身ともに健やかで たくましく生きる生徒
3 本 柱	主体的・対話的で深い学びの授業の展開	特別活動 (学級づくり) の充実	健全な心身を育む教育活動の充実

5 最重点努力事項 (経営の3本柱) に係る具体的取組

3 本 柱	主体的・対話的で深い学びの授業の展開	特別活動 (学級づくり) の充実	健全な心身を育む教育活動の充実
最 重 点 努 力 事 項	① ICT活用スキルの向上と、ICTを活用した学び合いの工夫と実践 ② 「学力向上に向けた新旧5つの提言」の理解・継続・自校化 ③ 授業研究を核とした校内研修と協働による授業づくり (オープンシェアリング) の推進	① 「生徒指導の三機能」を視点とした特別活動 (学級づくり) の推進 ② 考え議論する道徳科の授業の追求 ③ 学校全体での協働意識を重視し、外部関係機関と連携したいじめ・不登校対応の推進	① 「命」を大切にする教育の継続と充実 (自死予防プログラムの活用) ② 危機回避能力を高めるための防災教育の推進 ③ コロナ後の計画的な心身の健康に関する指導の推進

## 6 重点努力事項（学校課題解決のための取組）

校訓	克己	奉仕	規律
学校教育目標	知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成		
	進んで学び 深く考える生徒	自他を思いやり 心豊かな生徒	心身ともに健やかで たくましく生きる生徒
3本柱	主体的・対話的で深い学びの授業の展開	特別活動（学級づくり）の充実	健全な心身を育む教育活動の充実
重点努力事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学び合い」を重視した指導の推進と学力向上               <ul style="list-style-type: none"> <li>① ICT機器の活用                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT機器を活用した授業改善</li> <li>・ 個人思考と集団思考を往還する授業・単元の構想と実践</li> </ul> </li> <li>② 家庭学習の習慣化                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意図的・組織的・計画的な課題付与の工夫</li> </ul> </li> <li>③ 朝学習の充実                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読書，Gタイム，MV活動の展開</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○授業改善の視点を重視した校内研究の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 研究授業，模擬授業の推進と検討会の充実</li> <li>② 実践を公開し合う雰囲気づくり</li> <li>③ 学サポと連動した指導力と学力の向上</li> </ul> </li> <li>○特別支援教育の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 相談体制の整備                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コーディネーターを中心とした相談体制</li> <li>・ 合理的配慮と合意形成</li> </ul> </li> <li>② 関係機関との連携                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援学校や子ども総合センターとの連携</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学級づくりの充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 自己指導能力の育成                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒指導の三機能を生かした学級の取組の構想と実践（居場所づくり・絆づくり）</li> </ul> </li> <li>② 学年・学級の創意に満ちた実践の推進                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 足並みをそろえる指導と個性を大切にした指導のバランス</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○志教育の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域連携の充実                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後のコミュニティースクールを念頭に置き地域や自治体，関係諸団体・機関と連携した体験的活動等の展開</li> <li>・ 情報交換や出前授業，見学・体験会等をととした小中連携の推進</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○生徒会活動等の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 自己決定のある活動の推進                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プラスワンのある生徒会行事の充実</li> </ul> </li> <li>② 縦割り活動の推進                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学年間での学習成果等の共有，話し合いの推進</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な生活態度の指導               <ul style="list-style-type: none"> <li>① あたりまえのことを自然にできる生徒の育成                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「返事・あいさつ・身だしなみ…」凡事徹底</li> </ul> </li> <li>② 「命」に関する意識の深化                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「命」の大切さを意識させる学級活動，道徳教育，防災教育等</li> </ul> </li> <li>③ いじめの防止                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報共有・全体で対応</li> <li>・ 絶対に許さないという毅然とした指導</li> </ul> </li> <li>④ 情報リテラシー教育の徹底</li> </ul> </li> <li>○安全教育の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 自転車の安全運転意識と技能の向上                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 街頭指導及び外部と連携した自転車安全教室の開催</li> </ul> </li> <li>② 生活安全に対する意識の向上                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校内外での安全な生活に関する指導の充実</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○体力向上と健康増進               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 健康的な生活の習慣化                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ後を見据えた感染症予防対策と体力向上策の推進</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
学校課題	学力の向上	不登校・いじめの防止	「命の意識」・体力の向上

## 7 学校経営の評価

最重点努力事項（経営の3本柱：3領域9項目）及び重点努力事項（学校課題解決のための取組：3領域20項目）について，学期末（1学期末・2学期中）に教職員による自己評価を実施する。この自己評価において，項目が達成されたと評価した教員が8割以上になる項目数を24項目以上とする。

